

算を感じました。

〈竹内静珠協検定部長より〉

①『静珠協の意義』 隔月の全珠連検定の穴を補う↓ひいては子供のモチベーションを高めていく。

②『珠算の財政』 検定受験者数、珠算の未来の為、受験者数を増やしていく事が必須。

③『子供の人間力を高める。成長を見守る』 ↓検定試験のような小さなチャレンジ、失敗を繰り返す事が将来への貴重な経験・勉強となる。

それぞれの先生方の役職により、仕事内容は異なりますが、全ての先生方の根底に一貫してあるもの。それは、『珠算業界を発展させていく』という強い意志』

『生徒を伸ばしていく』という愛情』

『各地区を盛りあげていく』という熱意』 など様々な思いが言葉の端々から伝わってきて、私もまたこの入会一年という節目の年に気を引き締め、襟を正して進んでいくという思いを強くしました。そして改めて、珠算の活性化の為に、月々の検定試験がいかに大切かという基本に立ち返らせてもらえた研修だったように思います。

最後になりますが、高校野球を気にされながら終始和やかな雰囲気を作り進めて下さった徳増研修部長、『話は短く切り上げよう』とおっしゃいながらも時間を越え熱く思いを伝えて下さった松村支部長はじめ、貴重なお時間をささき、私達に多くの事を御指導下さった先生方に心からお礼を申し上げます。私達も日々努力していく所存でおります。

今後も御指導御鞭撻よろしくお願い致します。

ホット&ユニークな

地区競技大会

清水地区 赤木利子

清水地区競技大会は、毎年夏休みに行なわれます。第四十六回目の今年は七月三十一日(木)、会場は三回目拝借の江尻公民館です。ここは清水駅から徒歩で十分程なので、JR利用の私にとっては大変有難い場所です。

さて標題の『ユニークな』というのは、選手一人が参加できるのが、(かけ算、わり算、見取算)

のうちの一種目と、読上算か読上暗算のどちらかに限定され、各部門、各種目の優勝者にはトロフィーが与えられる為、その数なんと六部門×五種目＝三十個になり参加者数には影響されずに戴けるので今年の参加者は八十七名でしたが、例年通りにトロフィーを手にした笑顔がたくさん見られました。

開会式が終わるとまずは、×÷見の部屋に分かれ五十問のピラミッド問題を十分間やります。参加者の交換審査で正答数の多い順に一等～三等まで決定し、パソコ入力と賞状書きの先生へ渡します。同条件の同点があれば、その場で決勝を行い決定します。今年はわり算競技の中学生が一等を決める決勝を二回行いようやく決まりました。同部屋の小学生にも良い刺激になったかなあと感じました。

三種目すべて決定すると、次は読上算(四年生以下と五年生以上)と読み上暗算(全員)に分かれて競います。両方共用意された十五問を読み上げ、正解数の多い順に一等～三等まで決定します。これも同条件同点の場合は決勝です。今回は読上暗算六年生で一

等を決める決勝がありました。私の担当した四年以下の読上算はスムーズに決定したので、待つ間、深澤先生が暗算の大切さを話された上で簡単な読み上暗算をして下さいました。ほぼ全員が「出来た!」と挙手すると「よくできましたね」とほめて下さったので、まだ暗算に自信がない低学年の子たちの励ましになりました。

この大会もう一つの特徴は、入賞した生徒を参加教室ごとに分け、一等三点、二等二点、三等一点として集計し最も点数の多い教室に、優勝カップを与えます。こ

